

Column1 「自立」とは

「自立」という言葉からは、「一人で何でもできるようになること」というイメージが浮かびがちです。しかし、私たちの日常生活を振り返ると、誰かの助けなしでは成り立たない場面は数多くあります。家族に頼ったり、職場で同僚に協力を求めたりすることは、決して「自立」に反するものではありません。むしろ、周りの人とつながり、助け合いながら生きていくことは、人間にとって自然な姿と言えるでしょう。

障がいのある児童生徒の「自立」を考える上でも、この視点は重要です。児童生徒が将来、社会で自立して生活していくためには、「一人で何でもできるようになる」だけでなく、「自分の力でできること」と「人に頼ること」のバランスを取って指導することが大切です。



Oitaくん